

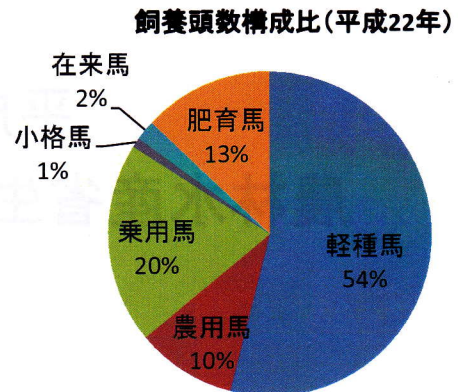
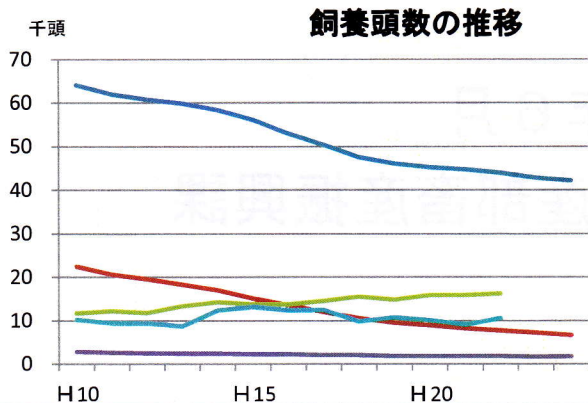
1. 馬産をめぐる情勢

(1) 飼養頭数の推移

- 総飼養頭数は、減少傾向で推移。
- 農用馬（重種馬）・競走用馬（軽種馬）・小格馬の飼養頭数は、減少傾向で推移。
- 乗用馬の飼養頭数は、増加傾向で推移。
- 在来馬・肥育馬の飼養頭数は、近年、ほぼ横ばいで推移。

年次	競走用馬 (軽種馬)	農用馬 (重種馬)	乗用馬	小格馬	在来馬	肥育馬	合計
平成5年	72,779	28,378	9,797	—	3,361	6,778	121,093
10年	64,120	22,412	11,646	—	2,892	10,260	111,330
15年	56,088	15,057	13,755	1,610	2,301	13,136	101,947
20年	45,298	8,888	15,829	1,178	1,860	10,098	83,151
22年	43,954	7,716	16,147	1,119	1,823	10,628	81,376
24年	42,195	6,676	—	743	1,766	—	75,199

資料：競走用馬（軽種馬）：「軽種馬統計」（（公財）ジャパン・スタッドブック・インターナショナル（公社）日本軽種馬協会、
農用馬（重種馬）・乗用馬の一部・小格馬・在来馬：（公社）日本馬事協会調べ、乗用馬・肥育馬：（公社）中央畜産会調べ



1

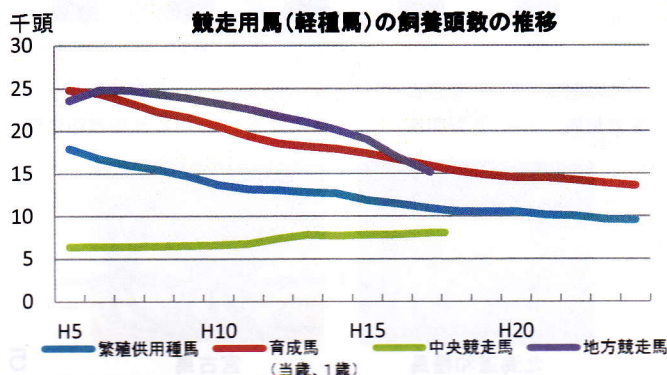
(3) 競走用馬（軽種馬）の飼養状況

- 飼養頭数は、競馬の売上げ不振・地方競馬の廃止等に伴い、減少傾向で推移し、平成24年では約42,000頭（平成20年比で約3,000頭減少）。
- 内国産は、ほぼ全頭を北海道で生産〔うち80%は日高地方で生産〕。
- 輸入頭数は、減少傾向にあるが、繁殖用（妊娠馬を含む）はほぼ横ばいで推移。主な輸入国は米国。

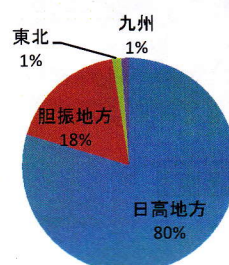
年次	繁殖供用種馬		育成馬		競走馬		国内合計	輸入			
	種雄馬 ①	種付雌馬 ②	当歳馬 ③	1歳 ④	中央競馬 ⑤	地方競馬 ⑥		繁殖用	妊娠馬	競走用	合計
平成5年	767	17,191	12,591	12,230	6,418	23,582	72,779	43	68	215	326
10年	506	13,169	10,241	10,322	6,612	23,270	64,120	82	66	345	493
15年	389	11,499	8,774	8,599	7,802	19,025	56,088	37	96	226	359
20年	284	10,268	7,378	7,155	8,096	12,117	45,298	30	85	157	272
22年	269	9,782	7,130	7,110	8,086	11,577	43,954	42	51	126	219
24年	240	9,349	6,837	6,737	7,975	11,057	42,195	53	37	130	220

資料：①②③は、（公財）ジャパン・スタッドブック・インターナショナル（公社）日本軽種馬協会「軽種馬統計」
④は、前年の生産頭数（当歳馬）に0.95を乗じた推定頭数
⑤は、日本中央競馬会調べで、各年の翌年の1月1日現在の在籍馬頭数
⑥は、地方競馬全国協会「登録馬及び登録馬に関する統計資料」で、各年末の馬登録頭数
5. 輸入頭数は、（繁殖用）畜産振興課調べ、（競走用・妊娠馬）（公財）ジャパン・スタッドブック・インターナショナル

（単位：頭）



競走用馬（軽種馬）の地域別生産頭数割合(平成24年)



サラブレッド種
体高平均160～162cm
18世紀に競走用としてイギリスで品種改良された軽種馬。乗馬目的にも使用される。

3